

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	特定非営利活動法人もあ・かけはし 通所工房 I-TEM 中津
------	-----------------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和5年9月12日

③事業者情報

名 称：特定非営利活動法人もあ・かけはし 通所工房 I-TEM 中津	種 別：就労継続支援 A 型
代表者氏名：理事長 峯 秀樹	定員（利用人数）20名（23名）
所在地：〒871-0008 中津市大字大塚542番地3 TEL：0979-53-9395	

④総評

◇評価の高い点

【事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。】

NPO 法人として、複数事業の経営を行う理事長は、社会福祉事業の動向を把握するために、自ら情報収集に努め、県北圏域の利用者数・利用者像等福祉サービスニーズのデータを収集・把握・分析を行っている。

【福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。】

管理者（理事長）は、福祉サービスの質の向上について、法人内7事業所が参加する「業務改善会議」（2か月から3か月毎に開催）を構築。自ら会議に積極的に参画し、意見を集約し、課題を理解・分析したうえで、福祉サービスの質の向上の改善にリーダーシップを発揮している。

【利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。】

毎月2回利用者から意向や満足度の聞き取りを行い記録整備している。家族会メンバーからの意見も把握しその向上に向けた取組を行っている。

【利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。】

毎月2回の意向調査を基に、利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。

【利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。】

相談支援事業所をはじめ関連するサービス機関との連携や法人が経営するグループホーム世話人等との情報共有を行い、利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。

【利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。】

アセスメントを深め利用者のエンパワメントを把握し、可能性を引き出す。インタビューでは、何年後には「どのようになりたい」をイメージし、目標設定を行い、

毎月2回の意向調査等で確認を行い利用者一人ひとりの障害に応じた就労支援を行っている。

◇改善を求められる点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

理念や基本方針は、組織の福祉サービスに対する考え方や姿勢を示すものです。職員に限らず利用者や家族等、さらには地域住民や関係機関にも広く周知することが必要となります。また、利用者や家族等に対して理念や基本方針を周知することによって、実施する福祉サービスに対する安心感や信頼を高めることにもつながるため、わかりやすい印刷物等の作成の取組を期待する。

【運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。】

ホームページ等の活用により、法人、福祉施設・事業所の理念や基本方針、提供する福祉サービスの内容、事業計画、事業報告、スコア表等の情報が適切に公開されることを期待する。

【提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。】

標準的な実施方法として考えられる「職員業務心得」については法人・事業所の概要を表していると思われる。このことについては、基本的な相談・援助技術に関するもの、福祉サービス実施時の留意点や利用者のプライバシーへの配慮、設備等の福祉施設・事業所の環境に応じた業務手順等も含み、今後、更に充実した内容へと改訂されるよう期待する。

【利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。】

利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等の整備充実に取り組まれることを期待する。

【利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。】

利用者からパソコン操作等の希望が有ることを把握していることから、法人による社会参加のための学習の機会を提供する支援を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

各調査項目ごとに、十分満足のいける調査でした。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）